

# フィールド風

(現場)からの風

宮田守男

115年前の明治43年12月19日のこの日、日本で初めて動力飛行機の飛行に成功したことで今日は「日本人初飛行の日」。飛行士は徳川御三卿の清水徳川

家第7代当主・徳川篤守の長男・徳川好敏と旧相良藩士の子として生まれた・日野熊蔵。徳川大尉は代々木練兵場(現在の代々木公園)からフランス製のアンリ・ファルマン式複葉機を操縦し、最高高度70㍎、飛行距離3000㍎を4分間飛行。日野大尉はグライデ式単葉機で、最高高度45㍎、飛行距離1000㍎を1分間飛行し、10万人以上といわれた観客の喝采を浴びた。

「日本初飛行の地」の石碑、お二人の銅像、大きく翼を広げた鳥の形にデザインされた石碑が置かれている。飛行機に関心のある方は、ぜひ訪れてほしい場所だ。

来週の22日は「冬参・大根・コンニャク・レンコンなど体を温めてくれる食材を食べて、物事はいつかい方向に向かうと願いを託してはどうだろうか。

全国規模の調査ではないが、毎年恒例に安田生命保険は「人とのつながりや結びつきを連想させる名前が多い」と分析した。

使用漢字では男の子はトシャース大谷翔平選手が5年連続トップ、女の子は4年続けて「愛」が首位だった。日本の伝統文化や季節に由来する「和風ネーム」や「ハル」「エマ」「セナ」など

外国語表現に変換しやすくと、日本語で違和感のない名前が人気との分析もある。少子化に歯止めがかからず、出生数は通年で2年連続70万人割れ

白馬村役場駐車場、満車状況を解決する方策を早急に検討すべきとの声がかかってくる

